

三好さんの「神戸新聞社」事後指導を受けて

- 新聞づくりに大切なのはまず、見出しだということが分かりました。1つの工夫で心を惹かれるか惹かれないかが決まることが分かりました。だから、私も1つの工夫をして目に留まる、惹かれる新聞を作りたいと思いました。指導していただきありがとうございました。
- トライやる・ウィークの前に行われた指導で教わったインタビューの仕方でのインタビューすることができた。これからの新聞づくりに向けて文字の書体などの工夫があることに驚いた。私の事業所には人数が多かったので、同じ事業所の人たちと絶対にかぶらないような新聞を作ることを心掛けたいです。
- 普段は何気なく見る新聞も色々な工夫がされているということが分かった。トライやる・ウィークの新聞もいろいろなことを細かく書いたり、写真を上手に貼ったり、スペースをうまく使ったり、今日学んだことを生かして書こうと思う。
- 行った場所のにおい、音、雰囲気などの思ったことをそのまま新聞にしちゃえばいいんだなと思った。
- トライやるではたくさんのことを体験したので、何から書こうか迷うけど、自分が1番良かったと思うことを具体的に書いていけば迷わずにできることが分かった。新聞には文字の強弱もつけて書くと読みやすくなる。見出しは、目にパッと入るような見出しをつけようと思った。
- 今回のトライやるの事後指導を通して、新聞は面白かった体験や感動したこと、関心を持った仕事などを具体的にくわしく書くといいことを知りました。また、神戸新聞の方の質問からこんなことを書けばいいんだと改めて詳しく思い出すことができたので、新聞づくりに生かしたいです。
- 新聞を書くときに重要なことをイラストや写真などを使って説明されていてとても分かりやすかったです。このことを自分の新聞づくりに生かして、みんなと違う、興味を持ってもらえる新聞を書きたいと思った。
- 新聞は今まで何回も作ってきたけど、今までで1番良い新聞を作れそうなアドバイスや説明を受けたので、良い記事を書いて良い新聞を作れるように頑張ろうと思いました。
- トライやるで学んだことや感じたことをどのように書けば、読む人にとって関

心を持ってもらえる良い新聞になるのかが分かった。学んだり、発表したりしたことを元に良い新聞がつかれるようにしたい。

- 自分は最初に理由を書いて、後に結果を書くと思っていたけど、最初に結果を書いて後に理由を書くということを知れて良かった。
- 読者に分かりやすく書くための説明がとても分かりやすかったです。どうしたら興味を持ってもらえるのか、他とは違う新聞が作れるのかが良く分かりました。
- トライやる事後指導で神戸新聞の方に来てもらってわかったことは、5W1Hという言葉で具体的に書くことで、その時の状況を細かく書いていくことだと思います。説明の時、実際の新聞を例にしていたりしたので、分かりやすかったです。ありがとうございました。
- 誰にもかぶらない新聞を作ることが大切だと分かりました。インパクトがある新聞を作りたいと思います。5W1Hを使って書きます。写真を貼りすぎないように気をつけます。いろんな事業所の働きを見られて楽しかったです。
- トライやるの事後指導という堅苦しいイメージでしたが、質問の内容も簡単だったので、ちゃんと聞いて、ちゃんと答えることができました。写真が流れなかったのは残念でしたが、みんなの楽しそうな姿が見れて良かったです。今日は本当にありがとうございました。
- トライやる・ウィークでしたことをもう一度振り返ることができたし、みんなの事業所のことについて少しは知れたし、みんなの写真を見ていて楽しそうだなと思った。新聞をつくるコツを聞いていて、確かに良いなと思うことがあったので、しっかりとそれを使って新聞を作りたいと思った。
- 話し合いがたくさんできて楽しかったです。新聞は5W1Hなどを詳しく書いたり、字体を工夫したりすることがわかりました。
- 新聞を書くコツは感動したこと→体験、印象に残ったこと。→体験の順番に書く人と人を惹きつけるということが分かった。多分、こんな経験ないから来てもらって学びにもなったし、楽しかった。写真=命ということが分かった。強調させたいところに細い線を引くと読みやすいということが分かった。メリハリ、バランスが大事。逆三角形を意識して書こうと思った。事後指導ありがとうございました。